

1 学校教育目標	
<p>人権尊重の精神を基調とし、主体的に学び、広い視野と深い知識を身に付け、思いやりの心と郷土愛により社会に貢献し、規範意識をもち、心身ともに健康で、たくましく生き抜く、次代を担う生徒の育成を目指す。 教育指針 「学ぶ 鍛える 思いやる」</p>	
2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像	
○学校像	<p>生徒の学ぶ意欲の伸長、学力の向上、社会性の育成を図ることができる学校 地域・保護者に信頼され、力を合わせて生徒を育成する学校 組織で課題解決にあたる学校</p>
○児童・生徒像	<p>向上心をもって粘り強く努力し続ける生徒 他を思いやる豊かな心をもつ生徒 「あじみこし」が身に付いた社会性のある生徒</p>
○教師像	<p>生徒の個性を理解し、よさを伸ばそうと創意・工夫する教師 謙虚に自己研鑽に励み、指導力を発揮する教師 組織の一員として教育活動に取り組む教師</p>
3 学校の現状及び前年度の成果と課題	
<p>1 学校の現状</p> <p>(1) 「地域立中学校」として定着している。</p> <p>(2) 自校作成の家庭学習ノートを活用して、生徒が目標をもって家庭学習に取り組む習慣を身に付けることができた。基礎学力の定着が厳しい生徒には放課後補充教室でAIドリルを活用し、定着に努めている。</p> <p>(3) 学校行事や生徒会活動・委員会活動等には積極的に取り組み、達成感も高い。</p> <p>(4) 地域行事をとおして、地域や関係保育園・こども園・小学校・高校との連携が定着している。</p> <p>2 前年度の成果</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症予防対策により学習活動が制限されている状況下であったが、各学年の指導内容を終了することができた。また、指導方法を工夫しながら対話的活動を積極的に取り入れた授業を展開した。</p> <p>(2) 小中連携事業による研究と授業改善や児童・生徒の交流活動を概ね行った。</p> <p>(3) 「あじみこし」を意識した穏やかでけじめのある学校生活を送っている。授業や部活動、委員会活動、学校行事等、積極的に取り組む。幼少期より集団が固定化しているため、互いを認め合い、励まし、支え合っている。</p> <p>(4) 前年度は、土曜授業の地域清掃や私の主張発表会への参加など全てではないが地域に関わることができた。小学校とは部活動体験や漢字検定、合唱コンクールの見学などの連携ができた。中学生消防隊、ハッピーイベントへの参加はできなかった。</p> <p>(5) 運動会は修学旅行を目前に控えていたため、保護者の参観をなしにしたが、学習発表会には保護者の参観を含め実施することができた。</p> <p>3 前年度の課題</p> <p>(1) 授業改善の指導法の一つとしてタブレットを積極的に活用するとともに、評価評定について研究を深める。</p> <p>(2) 小中連携授業研修のみならず、児童生徒の合同行事等の開催により、より密接な関係を構築する。</p> <p>(3) 「あじみこし」を生活指導の基本に据え、礼節をわきまえた礼儀作法等をさらに指導するとともに、競争心や向上心の高揚を図る。</p> <p>(4) 地域や家庭、関係教育機関との円滑な連携により、健全育成をさらに推進する。</p>	

4 重点的な取組事項						
	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	小中連携を中心とした地域に根ざした教育活動の実践	◎	◎	◎	◎	◎
3	生徒による主体的な活動の推進・キャリア教育の促進	○	○	○	○	○

5 令和4年度の重点目標

重点的な取組事項－1	学力向上アクションプラン
------------	--------------

A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●
全教科において足立スタンダードに基づいた活用型授業を展開することで、主体的に学び、深く考え、表現することができる。	R5 区学力調査達成率 65% 到達度確認テスト(1月) 正答率 65%			

B 目標実現に向けた取組み

新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	授業改善	全教科	年間	全教員 ・指導要領改訂に伴う評価評定の理解を深める。	小中連携合同 授業観察	全教員授業研究 2回			
継続	朝読書	全生徒 国語	毎日 朝 10分	国語科及び担任 ・毎朝 10分間読書に取り組みさせる。朝学活込みの 10分だった読書時間を学活 5分と分離し設定した。	読書冊数	1人 10冊以上			
継続・新規	放課後 補充教室	全生徒 小テスト 不合格生徒 英・数中心 に5教科	毎日 放課後 25分	全教員 ・AIドリルを活用 ・Qubenaシートによる振り返り ・定期考査前後は全生徒対象 ・小テスト合格者の生徒は同時刻、教室で学習及び読書	到達度確認 再テスト(7月) プレテスト(1月)	達成率 70% 正答率 65%			

継続	スモール ステップ テスト	全生徒	年間 単元終了 時	全教科担当 家庭学習とも関連付け 復習プリント等を与えテ ストに取り組ませる。					
継続	コンテスト	全生徒	年3回 国語7月 英語12月 数学2月	全教員 基礎学力の定着	コンテスト	合格率 80%以上			
継続	家庭学習	全生徒	毎日 強化週間 年4回	家庭学習ノートを自校作成 担任が毎日点検 1, 2年2ページ以上 3年4ページ以上	提出状況 ノートの内容	提出状況 100%			
継続	ICTの 活用	全教員 全生徒	年間随時	全教科随時活用 大型モニター・タブレット 現物投影機等を活用した授 業を実施する。	区意識調査 ディスプレイ やタブレット などを使うと 授業がわかり やすい	肯定的回答 90%			
				AIドリルの活用 ・数学を中心に	区意識調査 学習の中で PC・タブレッ トなどの ICT 機器を使うの は勉強の役に 立つと思いま すか	肯定的回答 90%			

重点的な取組事項－2		小中連携を中心とした地域に根ざした教育活動の実践			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
小中連携事業とともに、地域行事に積極的に参加し、郷土愛の心を育成する。		小中連携事業をとおして、円滑な接続を図る。 地域行事への参加率を高める。			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
地域への貢献	「地域の行事に参加している」70%	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動等への参加（消火隊、地域行事、地域清掃、アシスタントティーチャー等） ・土曜授業度ごとにボランティアを募り、生徒会を中心に地域清掃を行う。 			
交流活動の充実	児童・生徒交流5回以上 新入生2学級確保	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動体験（小6） ・運動会への小学生参加（小6） ・合唱コン練習小学生見学会（小5・小6） ・合同百人一首大会（小5・中1） ・サマースクール アシスタントティーチャー ・中3アシスタントティーチャー（2月） 			
授業以外の学力向上 対策	漢検の合同実施	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定への小学生参加 			

重点的な取組事項－3		生徒による主体的な活動の推進・キャリア教育の促進			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
生徒が自分たちで学校を良くしようとする意識（愛校心）と自己肯定感をはぐくむ。キャリア教育に関わる取組をとおして、将来や今の自己の生き方について考え・表現できる生徒を育成する。		「学校に行くのが楽しい」80% 「大人になったときの夢や目標がある」70%			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自尊感情を育む実践	<ul style="list-style-type: none"> 「自分にはよいところがある」65% 「あじみこしを意識して生活している」90% 各種表彰並びに掲示 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会が主催の「あじみこし」キャンペーンの実施 大会等上位入賞者の表彰や掲示 			
意志決定能力・キャリアプラン能力の伸長	<ul style="list-style-type: none"> 働く人の話を聞く会1年、職場体験2年の実施 夢デザインシートを活用 「自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい」85% 	<ul style="list-style-type: none"> 働く人の話を聞く会1年 職場体験2年 2日間 夢デザインシート記入 外部人材の活用 上級生から下級生へ 中学生から小学生へ 			
コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の伸長	<ul style="list-style-type: none"> 「グループ活動やペア活動では、自分から積極的に発言したり、みんなと意見を話し合えるようになったと思う」肯定的回答65% 	<ul style="list-style-type: none"> 全教科で言語活動を取り入れた工夫した授業の実施 プレゼンテーションソフトを活用した発表の充実 生徒会朝礼の充実 			
生徒会、委員会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 「行事・部活動に積極的に取り組んだ」85% 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒実行委員会を中心とした行事の運営や生徒会、委員会の主体的な活動の推進 			

6 まとめ

- (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性
- (2) 保護者や地域へのメッセージ
- (3) その他（学校教育活動全般について）